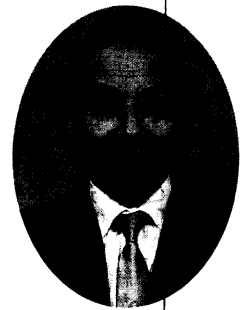


会長メッセージ

「更なる会員増員を目指して」



総本部会長 古田 哲壮

吟界の高齢化が叫ばれて久しく、会員獲得の厳しい現状が続いています。これまで本会においては、平成13年度以降3回増員対策委員会（第1回は会員増強退会防止対策委員会という）が設置され、その提言を基に、様々な施策の実施に取り組んでまいりました。吟詠向上や教養を深めることを目的とした吟道大学講座の開講、詩吟をアピールするホームページの立ち上げと継続更新、再入会促進キャンペーン（のちに、新入会促進キャンペーンも追加）の実施、吟詠歌謡CDの作成、現会員への対策として教本の近代化（新教本の作成）、昇段・昇格の期間短縮、会員増員表彰制度の導入などを進めてまいりました。特に新指導者育成を目指す東明未来塾は指導者の若返りを期待し、本部コースのほか地方コースも展開し、さらに、リモート方式を取り入れるなど工夫してまいりました。東明未来塾10年の実績は関西吟詩の財産であり、今後どうつないでいくのかはこれからの課題と考えています。

こうした厳しい状況に対して、執行部は会員の増員につながる諸活動に対して支援しようという方針に舵を切りました。新入会・再入会促進キャンペーンの再開や新教室開設への支援、一般来聴を歓迎する吟詠普及推進事業の強化などを進めてま

います。どうかご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

ところで、本会は諸先輩諸先生の方力で海外に詩吟活動の場を作っていたが、国際的にも展開してまいりました。昭和60年ブラジルで開催した日米伯吟剣詩舞交歓大会に出席された塩谷鷺声先生達によりブラジル地区本部が誕生しました。平成10年創立15周年記念大会には、総本部から総勢22名の会員がブラジルのサンパウロに駆けつけ交流されたと創立80周年記念誌に記載があります。そのブラジル支部ですが昨秋連絡があり、会員の超高齢化などにより活動休止せざるを得ない状況になったと連絡がありました。一方、台湾には旭彩会の教室があり、今年創立25周年を迎えるとのことおめでとうございます。10月に開催する青年部大会に友情出演していただく中華吟誦研究会との交流をさらに深め、中国において本会の支部開設につながることを期待しています。

青年部大会を終えると、総本部主催の全国競吟大会が始まります。日頃の成果を発表する場です。出吟される吟者の皆さんへのエールと準備に当たられる役員・審査員の皆さまのご奉仕に感謝申し上げます。